

精神神経科が 訪問診療開始

十和田中央病院、25日から

十和田市立中央病院は25日から、通院が困難な精神神経科の患者を対象に週1回、訪問診療を始める。同病院では、今年6月に同科の医師が2人から3人に増員となり、三澤克事務局長は「うつ病や認知症患者の増加など、精神科は需要が増えており、病院としてもニーズに応えたい」と話している。

訪問診療の対象者は、身体面や精神面の問題を抱える患者や、

認知症の高齢者など。医師から通院が困難と判断された場合、毎週月曜日に精神神経科の医師が決まった日時に在宅で診察する。

同病院は認知症の早期発見、早期治療を行うため、昨年10月から

精神神経科に「もの忘れ外来」と銘打った専門外来を毎週木曜日に開設している。さらに、幅広いニーズに対応するため、11月15日から診療科の名称を「メンタルヘルス科」に変更する。